

調査のチェックポイント Ver.2

平成30年4月1日現在

1. 施設の特徴・規模

- ①飼養保管施設の概要（図面等）
- ②主要な実施実験の種類
- ③飼養動物種と飼育実績（直近1年間（2回目以降は直近3年間）、遺伝子組換え動物の飼育実績を含む）
- ④動物実験実施者数、飼育管理スタッフ数（業務委託の有無）、実験動物に係る資格保有者数

2. 機関内規程（以下、「規程」という。）・組織等

- ①規程の内容は、法令、飼養保管基準、各省指針に従っていること（機関の長の責務、用語等）（飼養保管基準解説書及び学術会議ガイドラインを可能な範囲で考慮すること）
- ②規程等の制定・改廃、施設の整備・管理、委員会の位置づけに関して、動物福祉の観点からの組織・運用体制が明確であること
- ③機関の長が動物実験の最終責任者であることを踏まえた関係者からの情報提供等の状況（ヒアリングで確認）

3. 動物実験委員会（以下、「委員会」という。）

- ①各省指針に従う委員構成分野とそれぞれの委員数
- ②委員会の成立、審議参加要件、議決の要件、開催頻度等の運用方法
- ③動物実験計画の審査方法（変更の軽重による審査方法、繁殖計画等審査対象範囲も含む）
- ④委員会の計画書審査等（事務局等による事前チェックも含む）、審査委員のコメントと実験責任者の回答の記録・議事録等の作成状況（審議結果別審議件数も含む）
- ⑤審査実績（SCAWのカテゴリー別件数）
- ⑥苦痛度カテゴリーの判断（操作・試験毎の判断基準も含む）、人道的エンドポイントに係る審査における運用
- ⑦麻酔・鎮痛法、安楽死法、人道的エンドポイント等の3Rsに係るSOP・マニュアル等策定状況と運用状況（ラボツアー時に機器等を確認）
- ⑧除外動物、残余動物、動物の再利用、複数回の外科手術施行の場合等に係る運用（該当する場合）
- ⑨委員会の動物福祉の充実に向けた取組み又はPost Approval Monitoringの実施状況【実施している場合に調査】

4. 動物実験申請書・実験経過記録（終了報告書）

- ①規程を反映した3Rsについての審査に必要な項目を網羅した動物実験計画書様式と運用状況
- ②規程を反映した3Rsに関する実施状況を把握できる結果報告書様式と運用状況

5. 自己点検・評価・検証

- ①実施方法・手順（規程に定められた項目（具体的には、動物福祉に係るソフト面及びハード面の対応、飼育施設の安全管理・関係法令の遵守等）、頻度、様式等を含む）及び実施状況（記録を含む）
- ②自己点検で指摘された事項へのフォローアップの実施状況（記録を含む）

6. 教育訓練

- ①教育訓練に係る動物実験委員会の関与状況（記録を含む）
- ②教育訓練の対象者、頻度、内容及び記録方法（記録を含む）
- ③必要な者に対する3Rsに係る手技に係る教育訓練状況（記録を含む）
- ④安全管理（次項：人獣共通感染症、感染症法・狂犬病予防法、バイオセーフティ、病原体汚染対応等を含む）に係る教育訓練状況（記録を含む）

7. 安全管理（他法令による規制を含む）

- ①組換え動物の飼育等カルタヘナ法に係る運用が必要な場合の管理状況（動物実験委員会との連携状況）
- ②バイオセーフティに係る運用が必要な場合の手順等と管理状況
- ③ケミカルセーフティ、毒劇法、麻向法等に係る運用が必要な場合の手順等と管理状況
- ④放射線障害防止法等に係る運用が必要な場合の手順等と管理状況
- ⑤実験実施者等の安全確保及び健康保持（特に、人獣共通感染症、動物アレルギー（暴露防止措置を含む）、動物による咬傷・搔傷への対処）に係る手順等と管理状況
- ⑥動物に関連する感染防止・アレルギー防止の観点からの注射器の針刺し事故防止措置に係る管理状況
- ⑦法令点検を要する機器（オートクレーブ、クリーンベンチ等）に係る手順等と管理状況（記録を含む）
- ⑧自然災害や事故時の対応手順、緊急連絡網の整備状況

8. 外部委託

①委託がある場合、指針に定める委託先の運用状況の確認に加え、動物実験委員会での審査を規定しているか。また、委託先での動物実験計画の承認の有無。

9. 飼育環境・施設

- ①施設の運用形態（バリア・コンベンショナル等の別等）とそれを保持する運用方法（実験者・飼養者の入室から退室（手洗・着衣の方法、動線の管理等を含む）に係る手順等と管理状況（記録を含む）
- ②温湿度管理、換気回数、臭気、試験目的に合わせた陽圧・陰圧等動物種を考慮した飼育環境に係る手順等と管理状況（記録を含む）
- ③微生物モニタリング項目・実施（必要性の判断状況）（記録を含む）
- ④飼育環境モニタリング項目・実施（必要性の判断状況）（記録を含む）
- ⑤フィルター交換等の施設の保持に係る手順等と管理状況（記録を含む）
- ⑥施設・動物・作業者等に係る異常発生時（動物の逸走も含む）の対応に係る手順等と管理状況（記録を含む）
- ⑦逸走防止措置（排水口等も含む）の設置状況（実験等に関係ない者が実験動物に接することのない措置を含む）と逸走時の対応手順（関係行政機関への連絡を含む）
- ⑧災害時・停電時等緊急時への対策・対応手順（関係行政機関への連絡を含む）
- ⑨周辺環境へ施設が及ぼす影響への配慮
- ⑩排水溝、搬入・搬出口等を経由する外部からの衛生害虫等の侵入への配慮
- ⑪動物の死体、感染性廃棄物、床敷き等飼育に伴う廃棄物処理の管理状況
- ⑫飼育や作業等の排水に係る規制等に対応した処理と管理状況
- ⑬実験室（検査室・手術室等を含む）の運用手順と管理状況（動物の搬入・搬出方法、飼育の有無、逸走防止措置等及び飼養保管施設外の場合においては動物実験区域にかかる管理・機関の長の承認を含む）

10. 飼育管理

- ①動物種・特性等を考慮した飼育ケージ・床敷・飲水・飼料の選択、それらの滅菌の有無・供給・保管等の方法、個体識別、馴化、異常発見時等飼育管理に係る手順書等と管理状況（記録を含む）（実験動物管理者による実験動物の数及び状態の確認（実験動物の入手先、飼育履歴、病歴等に関する適正な記録管理）、実験動物管理者・実験実施者・飼養者相互の危害防止に必要な情報共有等）
- ②飼養保管施設の清掃・消毒の手順書等と管理状況（記録を含む）
- ③実験動物の搬入から搬出までの運用に係る手順書等と管理状況（記録を含む）
- ④飼養に関して法令等の規制等がある場合（ブタ、イヌ、サル類等）に係る手順等と管理状況（記録を含む）
- ⑤環境エンリッチメントに係る手順等と管理状況（記録を含む）【実施している場合に調査】
- ⑥獣医学的管理（規程において実施を規定している場合に限り）に係る手順等と管理状況（記録を含む）【実施している場合に調査】

11. 情報公開

- ①情報公開の内容・方法

12. その他

- ①上記項目以外に、規程等で独自に規定している動物福祉に係る取組み【実施している場合に調査】